

LORC11月スケジュール

8日(月) 9日(火)	LORC 国際シンポジウム “Citizens Participation in Local Public Policy Making: European Experiences in Global Perspectives” 会 場： VNG International, The Hague, The Netherlands 基調講演： Dr. Linze Schaap, Senior Lecturer of the Centre for Local Democracy, Department of Public Administration, Erasmus University Rotterdam
10日(水)	エクスカージョン in The Netherlands
23日(火)	第2班研究会 (10:30-13:00 於 キャンパスプラザ京都 第4演習室) 第3班研究会 (13:30-16:30 於 紫英館2階 第2共同研究室)
24日(水) 25日(木)	LORC コンファレンス「地域社会における公共的人材育成システムの構築とその社会的認証: Human Resource Development Revisited: the Role of Social Accreditation for Local Renewal Efforts in the 21 st Century」 会 場： キャンパスプラザ京都 基調講演： Chancellor Emeritus Dr. David Werner 他

各班活動状況

第1班 RA 辻本 乃理子

10月中旬英国での調査研究を終え、班長が帰国されました。研究会開催日程についてはオランダ国際シンポ終了後を予定しており、詳細は後日お知らせいたします。11月8日から開催されますオランダ国際シンポに1班からは、班長を含め3名の研究員の方が参加され、RAも同行いたします。また来年1月に英国リバプールより2名招聘を予定しています

第2班 RA 新井 健一郎

アンケート調査の結果を受けて検討を重ねてきたブックレットに関しては、10月3日の研究会で主にコラム担当などについて話し合いが持たれ、年内の完成に向けて次回11月23日の研究会で最終調整を行う予定。また、アンケート調査の最終報告書もほぼ完成し、前年度から続けてきた自治体職員研修の検討は一つの区切りを迎える。今後は、これまでの活動成果を踏まえつつも、「地域人材」の視点に立ち戻り、研修システムの構築に向けて改めて研究活動を展開していきたい。

11月23日の研究会では、そのような今後の研究方針についても議論をする予定。

第3班 RA 田村 瞳

10月2日(土)にアメリカの南イリノイ大学名誉学長のDr. David Wernerが来日され、3班との共同研究をスタートすることになりました(12月末まで)。Dr. Wernerには、ヒアリング調査を行っていただき、論文を一本書いていただくことになっています。そして、10月22日(金)に東京で、大学基準協会の澤田進事務局長と薬剤師認定制度認証機構の内山充理事長との第一回目のヒアリング調査を行いました。今後は、日本技術者教育認定機構(JABEE)や官公庁にヒアリング調査をする予定です。また、前回発足したワーキング・グループ(W・G)の活動として、10月16日(土)に東京の市ヶ谷にある地方自治総合研究所の会議室でWG第二回研究会が開催され、来年度の提言書作成に向けて活発な議論がなされました。次回は、11月15日(月)にWG第三回研究会が開催される予定です。第3班全体の研究会としては、11月23日(祭)に開催を予定しています。

第4班 RA 金 湛

今後の海外での研究をよりスムーズに効果的に展開するために、4班は海外の研究者（南アフリカの Prof. Brij Maharaj、インドの Dr. K.N.Harilal、ウガンダの Dr. Frederick Golooba-Mutebi、インドネシアの Dr. Deddy T. Tikson）に正式メンバーとして加わっていたべくよう要請した。皆、優秀な研究者であり、今後 LORC

での活躍が期待される。

また、4班は11月8日（国際シンポジウムの初日）の午前中にオランダで5回目の研究会を開く予定をしている。研究会の趣旨は各国の研究者が集まって、これまで研究してきた各国の状況を発表し、意見交換を行うことである。このような交流は今後行われる4班の海外活動に大きな意味を持つであろうと考えられる。

LORC information

国際シンポジウム、カンファレンスと、大きなイベントが続きます

11月は、8・9日の国際シンポジウム、24・25日のカンファレンスと、大きなイベントが立て続けに開催され、今後の活動に向けて弾みのつく月となりそうです。1班では国際シンポジウムの成果と白石先生の英国調査を踏まえ、また、3班ではカンファレンスでの議論を足がかりに、より活発な研究活動が展開されることが期待されます。研究員の皆様の一層のご協力をお願いいたします。

第2班研究会（11月23日）へご参加ください

先にメーリングリストでお知らせした通り、第2班では自治体職員研修の実態調査をひとまず終え、23日の研究会より「地域人材」の視点に立ち戻り、研修システム構築に向け、改めて研究を展開していく予定です。他班の研究員の皆様の中でもご関心をお持ちの方、ご協力いただける方がいらっしゃいましたら、23日、また、今後の研究会に是非ご参加ください。お問い合わせ、ご出席のご連絡は第2班 RA 新井（ken-arai@rnoc.fks.ryukoku.ac.jp）までお願いいたします。

LORC 資料室内文献紹介

興味のある文献について、LORC 支援室（TEL：075-645-2312）までご連絡頂ければ、目次のコピー、一時貸し出しなど対応させていただきます。

初谷勇 『NPO 政策の理論と展開』（大阪大学出版会、2001）

重富真一（編著）『アジアの国家と NGO - 15 カ国の比較研究』（明石書店、2001）

渋谷幸夫 『公益法人の機関と運営』増補改訂版（全国公益法人協会、2002）

『WAVE117 No.4 - 特集:どう活かす特定営利活動促進法』（鹿嶋社、1998）

岩田拓夫 『アフリカの民主化移行と市民社会論 - 国民会議研究を通して』（国際書院、2004）

雑誌の情報は以下のサイトへ！

ガバナンス

http://www.gyosei.co.jp/book/g_zassi/gover/index_gover.html

日経グローカル

<http://www.nikkei.co.jp/rim/>

掲示板

岩田拓夫さんの著書が出版されました

昨年度、博士研究員として LORC に勤務されていた岩田拓夫さん（現在、筑波大学大学院人文社会科学研究所講師/筑波大学比較市民社会・国家・文化特別プロジェクト <http://www.csc.tsukuba.ac.jp/>）の著書、『アフリカの民主化移行と市民社会論 - 国民会議研究を通して』が、国際書院より 9 月に刊行され、店頭に並んでいます。

「市民社会」=「民主化」では必ずしもないという問題意識のもと、両者の関係、また、「市民社会」そのものを、主にトーゴにおける国民会議招集の過程と帰結を検討することを通して批判的に探ったものです。機会がありましたら是非お手にとってご覧になってみてください。また、岩田さんの今後の一層のご活躍をスタッフ一同願っています。

新聞・雑誌などの記事について

新聞、雑誌などにご自分の記事が掲載された時は、ぜひ LORC 支援室の場 (matoba@noc.fks.ryukoku.ac.jp) までお知らせ下さい。こちらでも出来るだけピックアップするようにしていますが、すべてをカバーするのは困難ですので、宜しくお願い致します。

LORC 研究員のひとこと（紹介）

今月の研究員紹介は、第 1 班の木原勝彬氏です。

木原勝彬氏

NPO 政策研究所理事長

分権時代の地域づくりの課題は、地域住民、地縁組織、NPO などによる多種・多様な地域活動の活性化はいうまでもなく、住民相互の対話や協議を通じた地域の意思形成力・自己決定力・規範形成力・協働関係構築力など、地域の自主性・自律性が担保された地域自治（住民自治）システムの確立です。

現在、地域自治システムのあり方を検討するために、全国 17～18 ヶ所のヒアリング調査を実施中です。全国を回って気になる何点かを紹介します。行政主導の制度先行型の拙速なシステム構築の動きが目立ちます。地域活動団体の地域活動の推進力、地域自治システムの運営力は明らかに力量不足です。行政・地域住民とも、地域自治システムを構築する目的があいまいで、目的の共有化もはかられていません。

本年末には、調査結果が出るかと思えます。お楽しみに・・・。

編集後記

街でクリスマスグッズが並び始めたのを目にしました。しかしまだ紅葉を見ていません。月日の流れの速さについていけず、日本の四季折々の風物を感じることができなくなってしまっているのは私だけでしょうか。（N）

日々寒さが増してまいります。体調を崩されぬよう、ご自愛ください。（K）

最近、風邪をひいてしまいなかなか治りません。朝晩はめっきりと涼しくなり季節の変わり目となる今の季節、皆様も風邪にはくれぐれもお気をつけください。（H）

オランダに行くまでの時間は 1 週間をきりました。日曜日から大変忙しい一週間を迎えそうです。普段生活習慣が悪いため、来週は寝不足の一週間になりそうです。今日から国際シンポのために、生活習慣を正しくしましょうって、やっぱり無理そうです。（Z）

朝晩だいぶ冷え込むようになり、毎日ストーブの前で猫と陣取り合戦をしています。一年中を通してこんな季節の国へ移住したいです。（W）

やっと涼しくなってきましたね。紅葉が楽しみです。（T）

LORC Newsletter Vol. 5, 31 October 2004

編集・発行：龍谷大学地域人材・公共政策開発システムオープン・リサーチ・センター（LORC）支援室

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町 67

TEL: 075-645-2312 FAX: 075-645-2240

E-mail: matoba@noc.fks.ryukoku.ac.jp (PD 的場) WEB: <http://lorc.ryukoku.ac.jp/>